道路工事現場における標示施設等の設置基準

令和７年１１月

堺　市　建　設　局

１　道路工事の標示

道路工事を行う場合は、必要な道路標識を設置するほか、原則として次に示す事項を標示する標示板を工事区間の起終点に設置するものとする。

ただし、短期間に完了する軽易な工事や自動車専用道路などの高速走行を前提とする道路における工事については、この限りではない。

なお、標示板の設置にあたっては、別表様式１を参考とするものとする。

（１）　工事内容

工事の内容、目的等を標示するものとする。

（２）　工事期間

交通上支障を与える実際の工事期間のうち、工事終了日、工事時間帯等を標示するものとする。

（３）　工事種別

工事種別（舗装修繕工事等）を標示するものとする。

（４）　発注者

発注者及びその連絡先を標示するものとする。

（５）　受注者

受注者及びその連絡先を標示するものとする。

２　防護施設の設置

車両等の進入を防ぐ必要のある工事箇所には、両面にバリケードを設置し、交通に対する危険の程度に応じて赤ランプ、標柱等を用いて工事現場を囲うものとする。（参考（１）参照）

３　迂回路の標示

道路工事のための迂回路を設ける場合は、当該迂回路を必要とする時間中、迂回路の入口に迂回路の地図等を標示する標示板を設置し、迂回路の途中の各交差点（迷い込むおそれのない小分岐を除く。）において、道路標識「まわり道」（１２０－Ａ、１２０－Ｂ）を設置するものとする。（参考（２）及び参考（３）を参照）

なお、標示板の設置にあたっては、別表様式２を参考とするものとする。

４　色彩

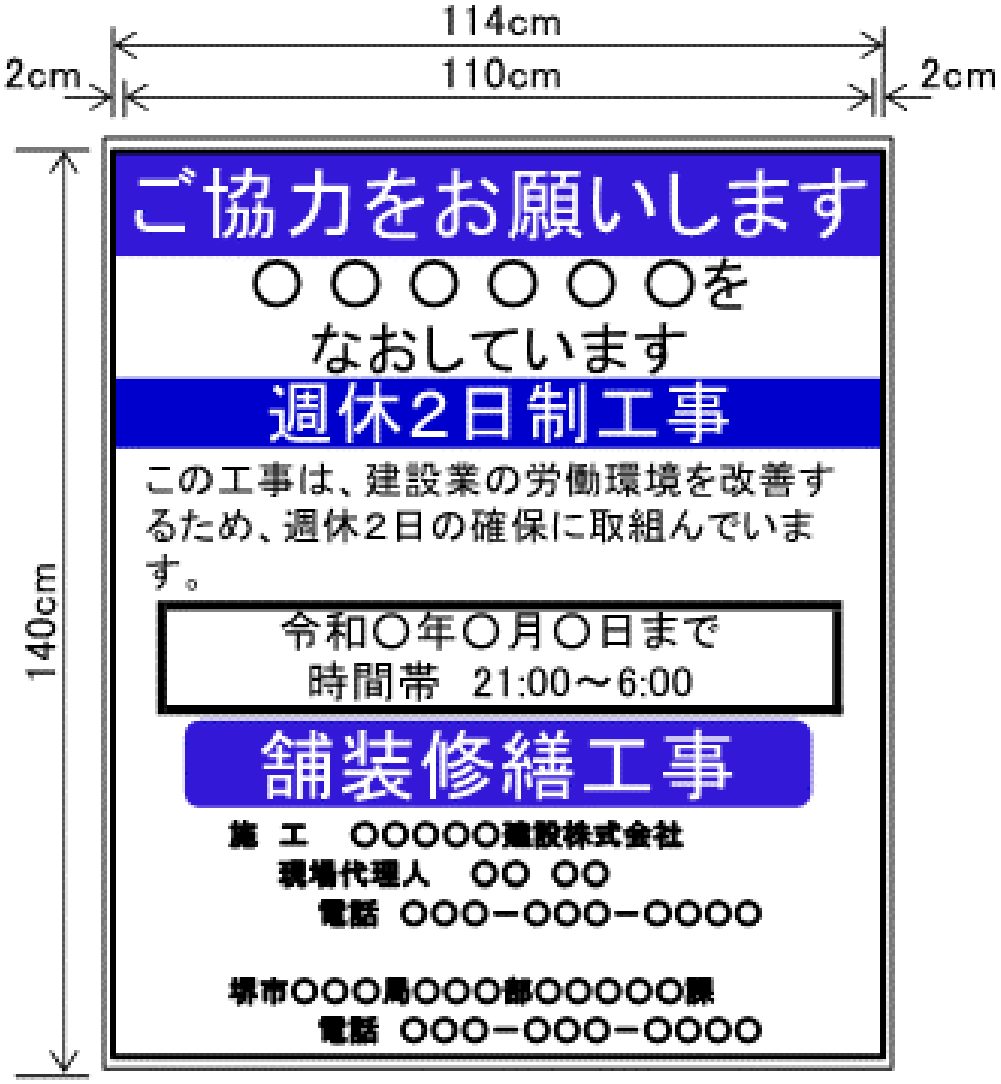
道路工事現場において、防護施設に色彩を施す場合は、黄色と黒色の斜縞模様（各縞の幅１０ｃｍ）を用いるものとする。

５　管理

道路工事現場における標示施設及び防護施設は、堅固な構造として所定の位置に整然

と設置して、修繕、塗装、清掃等の維持を常時行うほか、夜間においては遠方から確認し得るよう照明又は反射装置を施すものとする。

別表　様式１



（１）　色彩は「ご協力をお願いします」等の挨拶文、「舗装修繕工事」等の工事種別については青字に白抜き文字とし「○○○○をなおしています」等の工事内容、工事期間については青文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。

（２）　縁の余白は２ｃｍ、縁線の太さは１ｃｍ、区画線の太さは０．５ｃｍとする。

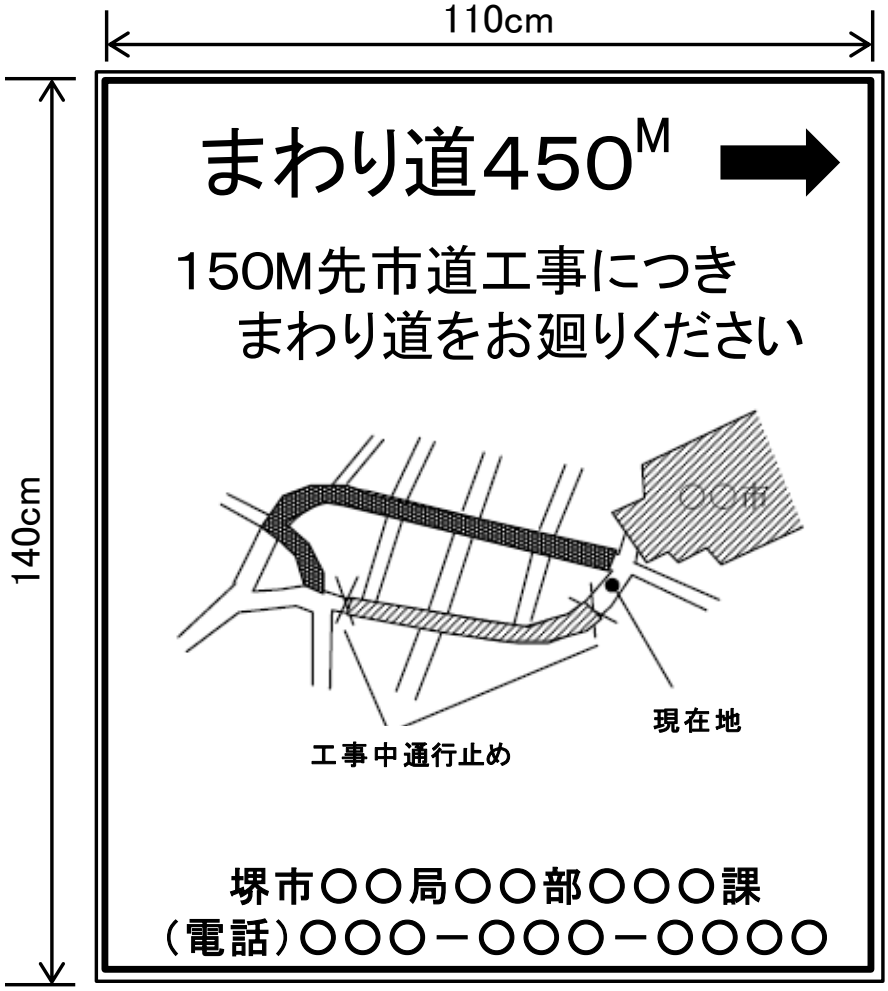
（３）　夜間・休日の連絡先は可能な限り表示する。

（４）　工事期間・時間帯については、交通上支障を与える実際の期間のうち、工事終了日、工事時間帯を標示するものとする。

（５）　高輝度反射式または同等品以上のものとする。

（６）　転倒しないように留意して設置するものとする。

別表　様式２



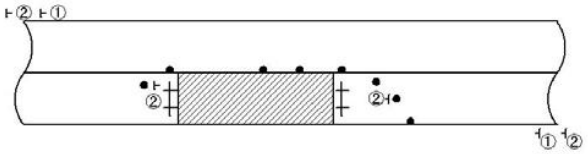
（１）　色彩は、矢印を赤色、その他の文字及び記号を青色、地を白色とする。

（２）　縁の余白は２ｃｍ、縁線の太さは１ｃｍとする。

参考（１）車線の一部が工事中の場合の標示例

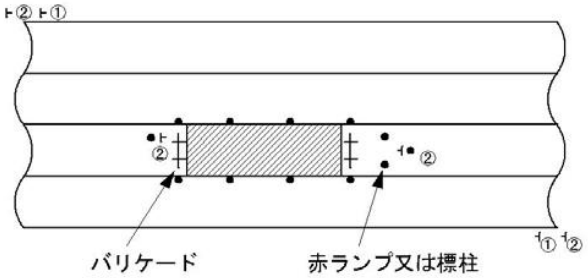
① 必要があれば設置する

（２車線道路）



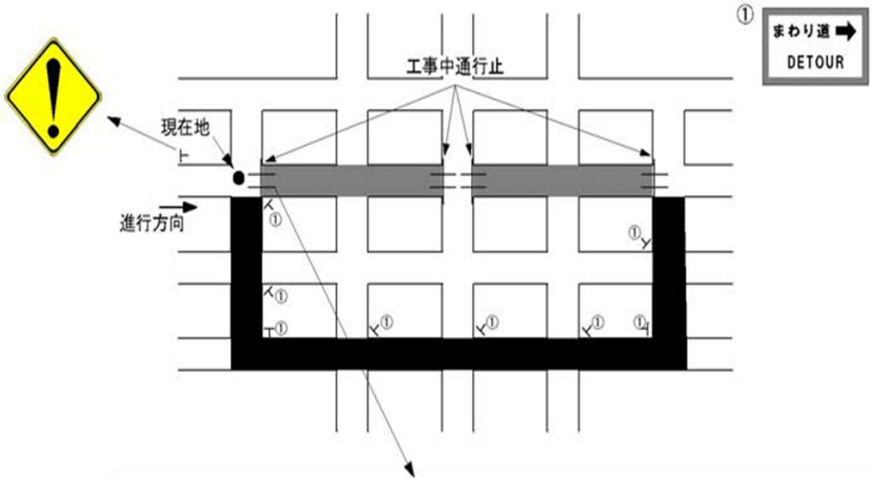
②

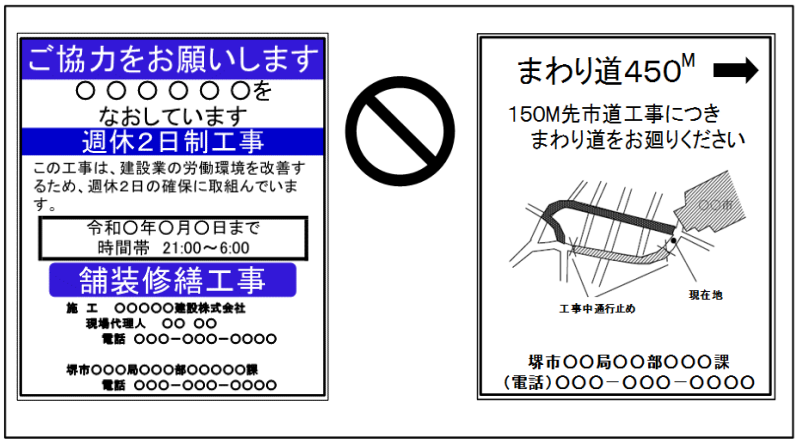
（４車線道路）

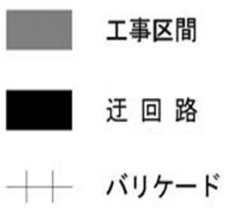


参考（２）工事中迂回路の標示例（市街地の場合）

（進行方向に対する標識の設置例を示す）

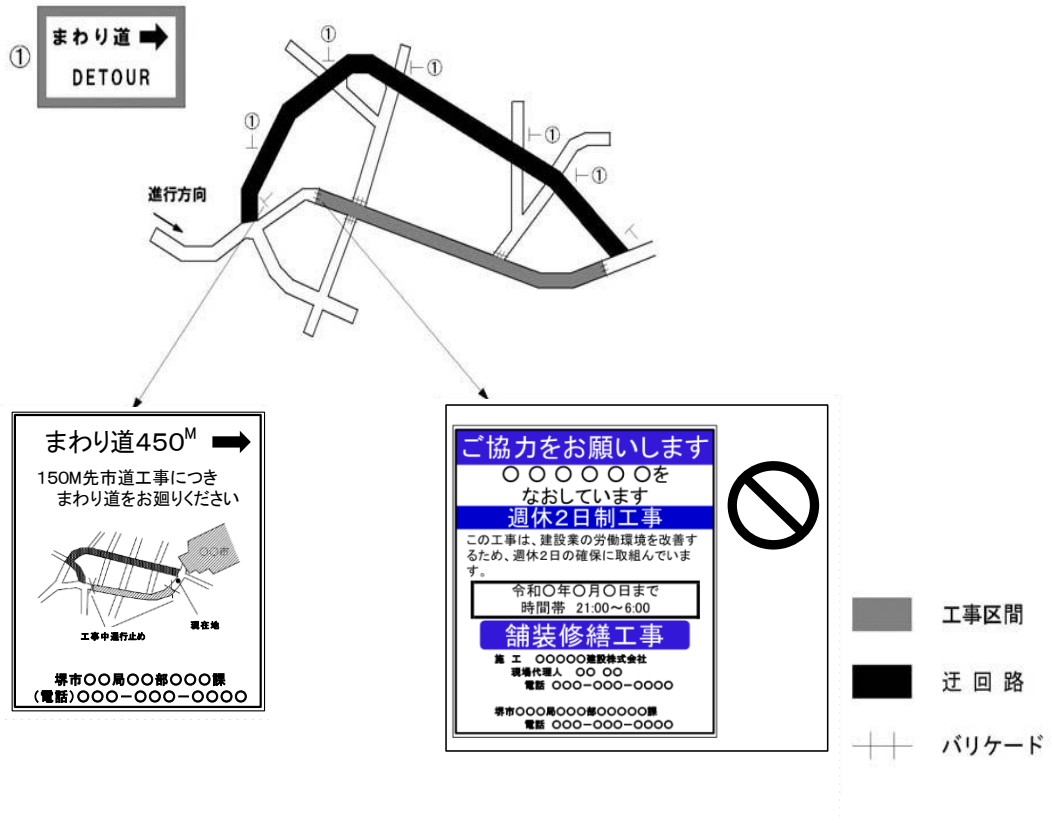
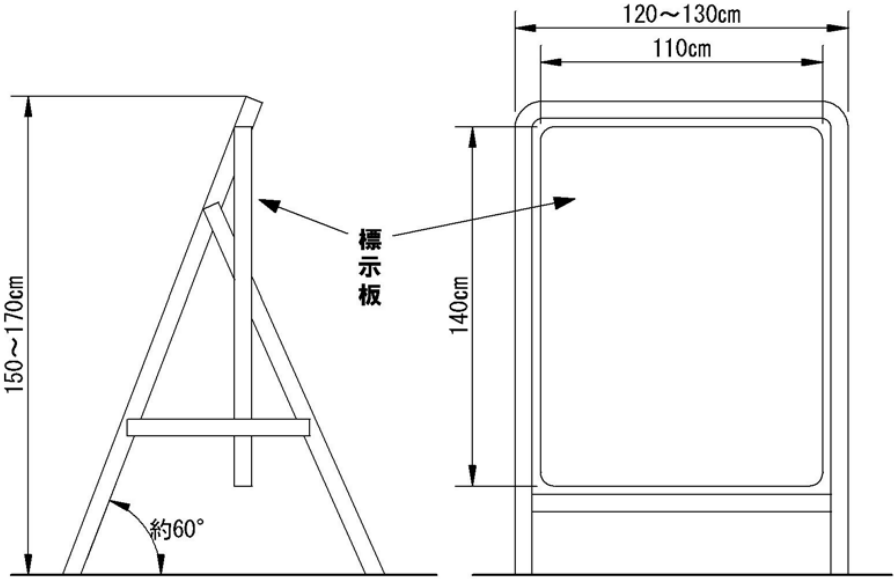






参考（３）工事中迂回路の標示例（地方部の場合）

（進行方向に対する標識の設置例を示す）



参考（４）設置方法の一例